

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2021~2022年度 No.269

5 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ III



強調月間：100周年記念

RBM

BF

今月の聖句

神よ、わたしを憐れんでください。わたしは人に踏みにじられています。(中略) 陥れようとするものが、絶えることなくわたしを踏みにじます。詩編56：2, 3

5月第1例会(植樹例会)

日時：5月28日(土)午前10時~
集合：那須街道「赤松美林」入口駐車場

あなたの手で 緑を育てませんか

恒例の植樹例会を下記により実施致します。お誘い合わせの上、ご出席くださるようご案内致します。小雨決行ですが、晴天になりますようお願いしております。

植樹場所：塩那森林管理署指定植林地

内容：植樹等・周辺のゴミ拾い

行程

タイムスケジュール	内容
10:00	集合
10:15	植樹現場へ移動
10:30	あいさつ・塩那森林管理署職員からの植樹説明
10:30~11:30	植樹実施
11:30	周辺のゴミ拾い・解散

7. 装備(個人装備・雨具・軍手・帽子・マスク・タオル・飲み物等)

*参加者は全員保険加入を致します。

*塩那森林管理署の皆様には大変お世話になります。ヘルメット・苗木・唐鍬等用具を準備して頂いています。

連絡先

那須ワイズクラブ 会長 河野順子 (090-1997-2077)

2021~2022年度 主題

国際会長：(IP) サム・サンテェ(韓国)

「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長：(AP) 大野 勉(神戸ポート)

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事：(RD) 大久保 知宏(宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるのか？」

北東部長：南澤 一右(仙台青葉城)

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」

クラブ役員

会長：河野 順子
 副会長：村田 榮・田村 修也
 書記：藤生 強
 会計：村田 榮・鈴木 保江
 担当主事：平山 雄大
 ブリテン：田村 修也・村田 榮

4月例会データ(出席率：71.4%)

在籍者 7名

出席者 5名

5月 Happy Birthday

なし

6月第2例会(役員会)

日時：5月27日(金)午後4時30分から

場所：ZOOMにて開催

5月第1例会(植樹例会)

日時：5月28日(土)午前10時集合

場所：那須町 那須街道沿いの赤松美林の駐車場

内容：松の苗木の植樹と周辺のごみ拾いを行う。

巻 頭 言

平山 雄大

4月30日・5月1日に冒険活動センターでリーダーズキャンプを実施しました。

リーダー20名・リーダーOGOB4名・スタッフ5名が集い1泊2日を過ごしました。宇都宮YMCAに集合するとリーダーたちは少し緊張した様子で、初めて会うリーダー久しぶりに会うリーダーと会話する様子などが見られました。グループを発表され、30分でその日の夕飯を決めるという限られた時間の中で協力し、ユースの柔らかい頭で面白いアイデアが出ていました。

みんなで買い出しをし、車に乗り込んで冒険活動センターへ向かいました。到着して最初のプログラムはグループでフィールドワークを行っていききました。自分たちが過ごす場所をグループで散策しながら、フィールドに隠れたスタッフ・OGOBを見つけ出すことが出来ました。次のプログラムではレクリエーションを通してグループの仲を深めていききました。どのプログラムにもYMCAが長年培ってきたツールを活かしてコミュニケーションワークを展開していききました。

夕食は自分たちで準備した食品を調理し、各グループで屋台のように店を開きグループの枠に収まらず全員が交流する時間となったようでした。夕食後はキャンプファイヤーを行っていききました。火を囲みながらレクリエーションや歌を楽しみ、仲間との気持ちを一つにしたり、一体感を味わったりとYMCAで大切にしていることが少し伝わったように、感じました。就寝後はリーダー同士で語らう時間となり、お互いのことを深く知れたようでした。

今回のリーダーズキャンプではYMCAが100年の歴史で繋いできたキャンプを体験してもらいました。YMCAのキャンプはもちろんです。リーダーの思いというものはいつまでも変わらないと感じました。これからも未来を担っていくユースリーダーと共にYMCA・ワイズは歩んでいきたいと感じました。



4月例会（聖園那須老人ホーム訪問）2022.04.18 於：聖園那須老人ホーム

4月第1例会(聖園那須老人ホーム訪問)報告

日時：4月18日(月)午前11時～

場所：那須聖園法人ホーム

那須町寺子丙1498-2

出席者：河野、村田、張、平山の各メンバー

報告：河野会長

去る4月18日(月)午前11時現地集合で聖園養護老人ホームを訪問し、古布やタオル類の寄贈のうかがいしました。

丁度、那須地区ではまだ、道々桜の花を観ることができ北関東の最北地区は、早春を思わせる季節でした。

聖園養護老人ホームの建物は、かなり老朽化し、その上11年前の東日本大震災で建物以外にも土地やその他の設備が痛めつけられていました。

かねがね建て替えを考えておられ、この度この計画が具現化し今年度中に建築工事の着工が開始されるという嬉しいニュースをうかがってきました。私たちの持参した古布・タオル等の需要は多く、直ぐに不足してしまうほど言うことでした。日頃より心がけていてこれらを集めてはいたものの、年に2回くらいの訪問持参が必要なのかと思いました。柔らかい布ならシャツ類でも原形のまま持参して良いものかと思っていました。入居者の昔の杵柄ではさみ使いは慣れたものかと思いましたので、原型のままのシャツ類はどうか伺いました。ところが、高齢の入居者はどこにはさみを入れたら良いか戸惑い、むしろ危険であるということでした。高齢とは行動が自然に制限されて行く内容が狭まるのだと実感しました。

新型コロナ感染の高止まりの状況のため、入居者との触れあいはなく帰りの途につきました。いつもワイズの例会にゲストで出席くださる聖園養護老人ホームの赤坂理事は残念なことに流行中のウイルス(コロナではありません)に冒されお休みされていました。

又、広くブリテンで広報しましたお陰で、他クラブから古布が届きました。ご協力ありがとうございました。

5月第2例会(役員会)報告

日時：4月28日(木)午後4時30分～

場所：ZOOMにて開催

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山

担当主事

協議事項

1. 5月第1例会について

5月28日(土)午前10時から、小雨決行で、那須赤松美林にて植樹例会を行う。駐車場に10時に集合し、植樹場所までは、車で移動。黒磯ガールスカウトと知人、ユースリーダー等に呼び掛けて行う。竹の準備は、村田。マジックは、平山。保険は、田村副会長に依頼。

2. 6月第2例会(役員会)について

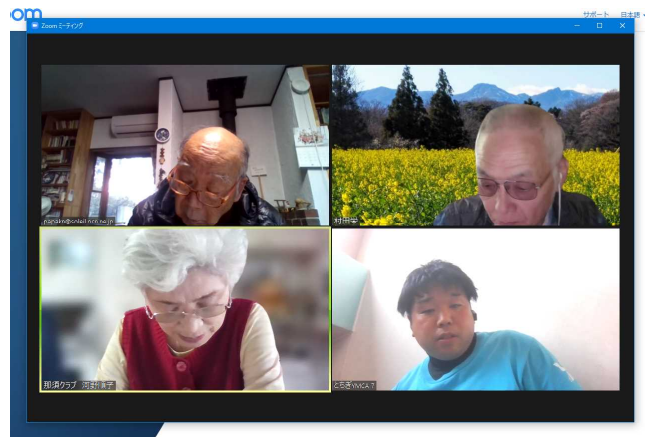
5月27日(金)午後4時30分より、ZOOMで行う。内容は、次年度計画と6月例会について。

3. 6月例会について

6月24日(金)に例会をできれば対面形式で行う。内容は、役員引き継ぎ、今年度の評価と次年度計画、その他。

4. その他について

- ・東日本区大会 6月3・4日にZoomで行う。
- ・シイタケ昆布の購入を5月下旬に行う。



旧西那須野(那須西原)の緑と水(第108回)

田村修也

明治13年以降矢板 武さんは、那須開墾社・日本鉄道会社・日光鉄道会社・下野銀行・矢板信用組合等に関係しました。明治20年代後半は、県北における産業経済振興の時代であると同時に、武さんにとりましても実業家としての基礎確立の時代であっただけに苦勞も格別であったと思われます。明治30年代には、矢板銀行・氏家銀行・下野煙草会社・宇都宮製粉会社・西沢金山会社・宇都宮起業会社の6社に投資をして、取締役または監査役の地位にありました。

武さんは大地主として、地方銀行の主要な出資者として社会的地位の向上をはかり、資本は眼のとどく所に投入して、安全管理の方法をとって企業利殖をはかりました。明治40年代以降は、新聞・保険・印刷・倉庫・電気・ガス・製糸・電灯・船舶にと有

価証券の種類を範囲を広げていきました。その結果、武さんの晩年（大正11年頃）における矢板家の投資先を列挙しますと以下になります。

下野銀行・栃木農工銀行・氏家銀行・矢板銀行・下野新聞・下野印刷会社・下野倉庫会社・宇都宮ガス会社・県是製糸会社・帝国電燈会社・日清製粉会社・日本錯酸会社・東洋薬品会社・台湾電力会社・帝国火災保険会社・東海生命保険会社・西沢金山会社・日本郵船会社の18の会社です。

私の記憶では、下野新聞社は栃木県庁と宇都宮城そして宇都宮駅と作新学院への道路の交差点北側にありました。現在は県庁の西側に移転しています。日清製粉会社は宇都宮駅の西口をでるとすぐに田川の橋を渡ります。その西側に立っていて、毎朝県庁へ通勤する時は左手に見ながら行きました。矢板銀行は、矢板武さんの自宅の前を通る旧国道4号線を挟んで道路に面しており、現在もその面影は偲べます。また、西那須野支店は西郷従道の別荘の道を挟んで南側にあり、私が子どもの頃まで玄関入口両側に立つ円柱の建物がありました。県是製糸工場は西那須野教会の会員であった千坂 進兄の設立した製糸工場が経営不振で栃木県が買い上げ、製糸技術を教える機関になった製糸工場です。少し前まではその跡地は竹林の未利用地で西郷農場へ注ぐ那須疏水支線の鍛冶屋堀と国道4号線の交わる交差点西門にありました。しかし、国道4号線の4車線化に伴う付け替え路線の起点となったため、道路敷地として工事中でかつての面影はなくなりました。養蚕業が開拓地の主たる産業であったので、製糸工場は数か所あったと聞いております。西沢金山は、奥日光中禅寺湖から戦場ヶ原逆川沿いに右折して光徳牧場を過ぎると旧栗山村川俣温泉に続く山王林道に接続します。山王林道を川俣に向かう途中、栗山村側に西沢があります。沢の入り口には旧西沢金山跡の表示板があったと記憶しています。この山王林道は台風の被災地の復旧の治山工事のため栃木県が直轄で開設した資材運搬道路を改良した道路です。冬季を除いてはかなりの交通量があります。奥日光からの道は、この産の林道を通って会津西街道に抜ける道と、金精峠を通って群馬県に入り菅沼・丸沼を通って片品村から尾瀬方面等に向かう二つの道路に分かれます。かつて戦後GHQによって全国紙の新聞からアメリカの新聞のような地方紙政策がとられたことがありました。私の父も戦前から地方紙の会社を経営しておりましたので、この政策を受けて関北時論という月刊の新聞社を立ち上げました。その時の新聞印刷をお願いしていたのが下野印刷会社です。印刷

された新聞を親と共に取りに行った記憶が残っています。（以下次号へ）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

「若者を歩むべき道の初めに教育せよ。

年老いてもそこからそれることがないであろう。」（旧約聖書 箴言22：6）

新型コロナウイルスが、広く私たちの生活に影響を与えてから3年目を迎えました。そのような中であっても、子ども達が神様に守られて、健やかに成長していることを感謝いたします。

さて、当園が西那須野教会附属幼稚園として、全ての子どもと子育て家庭の最善のために設立されて65年目、学園附属の「児童発達支援センターシャローム」も6年目を迎えました。建学の精神である「自分を愛するように、あなたの隣人をも愛しなさい」（聖書）を念頭に、全ての子ども達の健やかな成長を願い、豊かな人的環境のもと、1人1人の子どもに愛をもって保育しております。

また、未就園児の親子プログラム、宮城教育大学名誉教授長谷川茂先生の発達相談、そして、10年目の保育園リリールームは、4月からは毎日型になりました。この共に育ち合うインクルーシブ(包括的)教育の取り組みについて、昨年度は、園長・主任向けの専門誌「保育ナビ」（フレーベル館）10月号、12月号に連載されました。

また、東電原発事故から11年、『世界3～12月号（岩波書店）』の連載「県境の町」（吉田千亜）には、本園の原発事故対応についても掲載されました。

さて、コロナ禍がVUCAと言われる正解のない時代の到来を早めました。こども達が社会で活躍していであろう2045年は、AIが人間を超える「シンギュラリティ」と言われています。そのなかで、人びとは、その時々々の適解を求められます。よく生きる力です。そこでは、非認知スキルと言われる折れない心(レジリエンス)、自己統制力(意思・感情・行動)、価値観の違う人と一緒にやり遂げる力が必要です。そして、その力の基礎の部分は、幼少期での遊びや他者との協働による克服体験の中で培われます。

最後に、子ども達のより良い自己形成のために、地域や他団体の方からもたくさんのご協力を頂いております。ここに御紹介し、結びとします。中学生の「マイチャレンジ(今年も中止)」、五軒町区様との

クリスマス会。「地域親」としての「更生保護女性の会」の皆様による子ども達との交流は18年目になります。幼児から小学6年生までがアウトドア活動などの実体験や遊びを通して育ち合う、那須YMCAと大学生ボランティア・リーダーによる「サタデークラブ」は、21年目になりました。地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

(西那須野幼稚園 2022年度PTAあゆみ加筆修正)

アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

アジア学院に新しい年がやってきた。

海外からの学生たちが到着したのだ！

コロナ禍がスタートした2020年は、水際対策が厳しくなるぎりぎりのところで入国できた学生が7名だった。2021年はついに一人も入国できないまま1年が過ぎた。そして2022年はどんな幕開けになるのか、2月、3月は毎日ニュースをチェックしていたが、4月9日の入学式に間に合った海外からの学生は一人もいなかった。それでも4月上旬からビザの申請の予約が取れたという知らせが、ひとり、またひとりから来て希望がわいてきた。もしかして「4月中に来れる学生がいるのでは？」4月19日ついに今年の海外からの学生の第1号が到着した。私は待ちきれず、自らハンドルを握って羽田空港に出迎えに行った。インドネシアからのマルタさんは2012年の卒業生で、本来2020年度の研究科生（卒業後5年以上たった卒業生を対象に与えられる2度目に研修に参加する資格）として来る予定だったが、2年間待ち続けてくれた。PCR検査を含む空港での出国手続きは普段の2倍以上の時間がかかる。マルタさんも飛行機の着陸時刻から3時間以上経過してようやく姿を現した。その間ずっと出口で立ち続けていた私の足はすっかり疲れきってしまっていたが、彼女が笑顔で手を振って出てくる姿を見ると、そんなことは忘れてしまった。アジア学院に到着すると、職員とボランティアたちがマルタさんを大歓迎で迎えた。マルタさんが到着して2日後、こんどは日本から最も遠い国の学生が、南米グアテマラから到着した。グアテマラからは初めての学生で、2人の若い女性である。2人ともおそろいの鮮やかな民族衣装をまとい、同じ色のポーチを肩から掛け、同じ髪型をして、まるで双子のようないで立ちでやってきた。その翌日には今度はアフ

リカの中央、コンゴ民主共和国から2人の男性と、ケニアの女性と一緒に到着した。アフリカの学生はみな、エチオピア人のアジスアベバ経由でやってくる。この3人もそこから一緒に飛行機で来た。その後もインド、マレーシア、ナイジェリア、ガーナと次々に到着している。

遥か彼方の国々から、初めて国を出た学生も少ない。コロナによって長い人は2年待たされ、家族も仕事も大きな影響を受けたことだろう。コロナ禍の恐怖もまだ残る中、残してきた家族のことも心配だろう。よくぞ来てくれた。その一言である。

私たちがまた、いつか、いつかと待ち続けた。アジア学院の学びの環境が十分に使われないまま、歯がゆい思いをずっと抱えてきた。その間も多くの方々からご支援をいただくことができたので、こうして学院を維持することができた。すべてに感謝である。なんとしても今年の研修を意味ある、いいものにしていかねばならない。神に祈る毎日である。



YMCAだより

【新年度のご挨拶】

日ごろよりYMCAの諸活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。新年度（2022年度）がスタートしました。2022年度那須YMCAに関わるスタッフの紹介をさせていただきます。

那須YMCA全般：平山 雄大（ひらやま たけひろ・のりしおリーダー）※ワイズ担当主事※地域活動、西那須野幼稚園委託事業（運動遊び・サタデークラブ）児童野外活動、ユース活動など

英会話教室：小井土 明日香（こいど あすか）、小野寺 温代（おのぞら あつよ）、平山 雄大（ひらやま たけひろ・のりしおリーダー）

英会話教室補助・事務：村上 尚子（むらかみ なおこ）

英会話講師：Alex（アレックス）、Lee-Anne（リーアン）

スマイリークラブ：藤生 強（ふじう つよし）
今年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

【とちぎYMCA・那須YMCAの5月の予定】

- ・5/1（日） リーダーズキャンプ@宇都宮市冒険活動センター
- ・5/9（日） Yキッズ@みかも山公園
- ・5/11（水）・13（金） YMCAイングリッシュ那須 幼児クラス体験レッスン
- ・5/14（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園
- ・5/21（土） サタデークラブ@八幡山公園
- ・5/28（土） サタデークラブ@八幡山公園
- ・5/29（日） とちぎYMCAリーダートレーニング②@宇都宮YMCA

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名） 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは？ 5. 思い出に残った活動とその理由は？ 6. 今後の進路は？ 7. YMCAに一言



- ① 船山友輔（ゆっけ）
- ② 国際医療福祉大学放射線情報科学科
- ③ 岩手県
- ④ 友達に誘われて
- ⑤ 春の3Days 毎日子

供と顔を合わせる中で仲が良くなっていくのがわかったから

⑥ 診療放射線技師になる！

⑦ これからはシーズンプログラムももっと出たいです！

5月号理事通信より

理事メッセージ

2021年ー2022年 東日本区理事 大久保知宏（宇都宮）



クラブメンバーの皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークをどのようにお過ごしでしょうか？今期も残すところ2か月となり、来月の評価に向けて準備を始めている段階です。今月は「100周年年記念」「RBM」「BF」が強調

月間のテーマとなっています。また、3月から4月にかけて皆さんのご協力をいただいて実施された、

Y's×SDGs Youth Action2022 の審査結果、Week 4 Waste の実施状況、4月に開催された第3回東日本区役員会の結果などをお知らせいたします。先のワイズメンズクラブ国際協会、世界YMCA同盟で行われているウクライナの人々への支援活動のための募金のお願いには、70万円を超える金額をご寄付いただきました。これに東日本区ワイズ基金からの支出を加えて100万円の募金を行います。これに加えて、日本YMCA同盟が精力的に行っているウクライナから日本に避難されてくる方への支援活動に対し、東日本区として募金を行いたいと考えています。下記口座宛にお振込みください。お振込み時に「ウクライナ」とご記入いただくか。振込後に東日本区事務所宛にご連絡をお願いします。集まった募金に東日本区役員に交通費の補助として支給される予定だった活動費補助費からその一部を加え、現在エントリー募集中の「Be healthy Program」の収益金、6月4日・5日に開催の東日本区大会をZoom開催の中で行う予定のウクライナ支援企画の中でのご寄付を加えて、100万円を目標に募金活動を行います。

第6回 ワイズ・ナイトフォーラム プログラム

主催：一般社団法人
ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
Change! 2022 推進委員会

日時：6月25日（土）20:00～22:00
会場：Zoom開催
司会：板村 哲也（Change! 2022 委員）

閉会挨拶 大久保知宏

1部 卓話者 NPO 法人 Salamata & Philippines
Sky Light Project(PSP)

『ともに希望の絵本・ともに奏でる教科書・海をこえて届けろ！』

2部 パネルディスカッション（45分）東京多摩みなみクラブ

テーマ：『オンライン・プランナー講座について
～コロナ禍で生まれた地域奉仕事業～』

ファシリテーター：石田孝次

パネラー：伊藤幾夫、田中博之、綿引康司、深尾香子

閉会挨拶 佐藤重良 次期理事

参加用アドレス

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYMONIK0ZEaXRONEFuaVVvUT09>

ミーティングID: 868 3230 3212

パスコード: 863392





ワイズメンズクラブ国際協会

第 25 回東日本区大会 ご案内



2022 年 4 月

東日本区理事 大久保知宏、大会実行委員長 山田公平（宇都宮クラブ）

第 25 回東日本区大会実行委員会では Zoom による開催を決定しました。参加費を無料とし、ウクライナやミャンマーの人々の平和と安全を祈り、献金に向けられればという願いも込めて決断しました。

6 月 4 日（土）午前 9 時半から 11 時半まで、Zoom にて東日本区代議員会が開催されます。

同じ時間帯で、ユースの集い、メネット会、担当主事の会が別々にズームで開催されます。



第 25 回東日本区大会は 6 月 4 日午後 1 時から午後 5 時まで、及び翌 6 月 5 日（日）の午前 9 時から 12:20 まで Zoom にて開催されます。詳しいプログラムは下記の通り。

東日本区大会の進行表

時間	分	内容
6 月 4 日		
1300-1420	80	開会式、祝辞、挨拶、メモリアル・アワー
1430-1530	60	東日本区アワー 1 理事報告、部長報告など
1545-1700	75	ウクライナ情勢とワイズ・YMCA ができること
6 月 5 日		
0830-0900	30	聖日礼拝
0910-0940	30	YMCA ユースリーダーと共に
945-1115	90	東日本区アワー 2 25 周年企画、事業報告、表彰
1120-1200	40	新旧役員引継ぎ式
1200-1220	20	閉会式

申し込み受け付けは行いません。

下記のアドレスでご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/87350795778?pwd=T0RDbDM5amxWV1N2OEE4NlZPeVdwdz09>

ミーティング ID: 873 5079 5778

パスコード: 754857